

# L'horloge

Osaka Gakuin University  
Public Relations Bulletin

ロロージュ No. 129  
May 2005



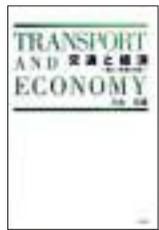
## 『新総支配人論 ―グローバルホテル 経営の日本的着地を目指して―』

仲谷 秀一 流通科学部 教授 著  
嵯峨野書院



## 『営業秘密の刑事法的保護』

全 理 其 法学部 教授 著  
嵯峨野書院



## 『交通と経済 ―風土・時間・国家―』

片山 邦雄 国際学部 教授 著  
八千代出版



## 『古代オリエント事典』

渡辺 千香子 国際文化学科 助教授 共編著  
岩波書店

## 大阪学院大学広報

L'horloge ロルロージュ No.129  
May 2005

- 発行 大阪学院大学  
大阪学院短期大学
- 編集 広報部

〒564-8511  
吹田市岸部南二丁目36番1号  
☎(06)6381-8434(代表)

URL  
<http://www.osaka-gu.ac.jp>

## 編集後記

愛知で「愛・地球博」が開催され大変好評である。愛知県にはトヨタをはじめ有力企業も多く、それらの企業も協賛している。関西から訪れる人は当然多く、中部国際空港（セントレア）が開港した影響もあり、海外からのお客さんも多い。関西の景気もやや上向きのようなのだが、この機会に愛知から学ぶ点があるに違いない。

万博は1851年のロンドンに始まり長い歴史を持っているが、実は日本も幕末から参加している。したがって、万博は日本の国際化と深い関係があるといえる。1970年の「大阪万博」は戦後日本の国際化と高度成長を示したものとして忘れられないものである。ちなみに、大阪学院大学は商学部をもって開学したが、この1970年に経済学部を増設し、今日の飛躍を遂げたのである。大阪学院の多彩な取り組みについては本号の座談会の記事をご覧ください。

## VOICE

新入生に向けて

特集

海外研修に行ってきました！

新コース紹介

## ESSAY

「想像力と創造力」

杉本 百美子

## FOCUS

MELOP

CAMPUS LIFE

CAMPUS NEWS DIGEST

INFORMATION

新刊紹介



# 新入生に向けて

## ～先輩たちが語る大阪学院の魅力～



### ～ 座談会出席者 ～ (順不同)

角田 聡	経済学部 教授	学生部長 (進行)
片山 邦雄	国際学部 教授	広報部長 (司会)
小倉 康三	企業情報学部 教授	広報部長代理
山口麻衣子	流通科学部 4年次生	バドミントン部所属
下西 幹	経営科学部 4年次生	VEC (ベンチャー&アントレプレナー・コミュニティ)参加
小林 洋介	経済学部 4年次生	男子ラクロス部所属
吉本 卓司	法学部 4年次生	教職課程履修
河合奈保子	外国語学部 4年次生	ホスピタリティコース受講、I-Chat lounge 利用
成田 泉香	国際学部 4年次生	学外活動参加
肥田 真幸	情報学部 4年次生	教職課程履修
武田 彩	企業情報学部 3年次生	水泳部所属
豊田 弘美	国際文化学科 2年次生	ホスピタリティコース受講

【片山】 今回のテーマは「新入生に向けて」ということで、各学部・学科を代表して皆さんにお集まりいただきました。皆さんも期待と不安を胸に入学されたと思います。これから大学生活を送る新入生に向けて、皆さんから活発なお話を聞かせていただきたいと思っています。進行は学生部長の角田先生にお願いします。



片山 邦雄  
国際学部 教授  
広報部長 (司会)

### なぜ大阪学院を選んだのか。

【角田】 最初に、大阪学院に進学しようと考えた理由を一言ずつ聞かせてください。



角田 聡  
経済学部 教授  
学生部長 (進行)

【山口】 私はバドミントン部があったことと、一般入試やセンター試験以外にAO (アドミッションズ・オフィス) 入試があったので大阪学院大学を選びました。

【下西】 私もAO入試を利用しました。高校の先輩がたが大勢いたので先輩がたの勧めが入学するきっかけだったと思います。

【角田】 先輩がたにはどのように誘われたか。

【下西】 学校の雰囲気というよりもクラブの雰囲気についてよく聞いていたのですが、「上下関係があまりなく、和気あいあいとしている」と言われましたね。

【小林】 私の場合は交通の便がよいことと、パソコンの豊富さや、トレーニングルームが学校の中にあるなど、設備が整っていることに魅力を感じました。

【吉本】 高校の校舎が古かったので、きれいな校舎で勉強してみたいと思っていました。大阪学院にはMELOP (メロップ) という充実したマルチメディア施設があるということが決め手になりました。

【河合】 私も設備が整っていることと、I-Chat Lounge (インターナショナル・チャット・ラウンジ) があったことです。パンフレットを見て魅力的だと思い、決めました。

【成田】 私は指定校推薦で入学しました。高校時代は吹奏楽部に在籍しており、大阪学院大学は吹奏楽も盛んに活動されているようでしたので選択しました。

【肥田】 私も指定校推薦で入学しました。早い時期に決まるということもありましたが、情報学部が新設の学部だったので、これから多くの可能性がある学部だと思って選びました。

【武田】 私も指定校推薦で高校の先生に勧められたことと、高校はすごく遠くて1時間30分ぐらい通学にかかっていたのですが、大学は家から30分で通学できるので、近いほうがよいと思って大阪学院大学を選びました。

【豊田】 資料請求したパンフレットの中でいちばん目に入ったのが大阪学院短期大学でした。校舎もきれいでしたし、学科に「航空業務」の授業があって、実際に航空業務で働いていた先生に教えていただいたり、貴重なお話をさせていただき授業を受けてみたいと思いました。高校を出てから専門学校に通っていましたが、この学校でさらにスキルアップできるのではないかと感じました。

### 入学する前と入学してからの違いは。

【角田】 実際に大学に入学して、高校時代に持っていたイメージとここが違うところはあります。

【成田】 大学に入ったらくさん遊べると思っていたのですが、意外と違うなど感じましたね (笑)。

【下西】 授業の取り方次第だと思いますが、レポート課題が意外と少ないと思いました。私が思っていたよりも試験で成績を判定する先生が多いと感じました。

【山口】 最初は同じ高校の人がいなかったのが不安でしたが、大阪の人が多く思っていたのですが、広島や香川など地方の人が大勢いて、いろいろな人と接することができました。

### 学生から見た各学部の特色。

【角田】 皆さんが学んでおられる学部の特色を新入生に紹介していただけませんか。

【山口】 流通科学部は、マーケティングを中心にコミュニケーションの重要性を教えてくれる学部だと思っています。

【下西】 経営科学部では企業経営についての基本的なことを学んでいます。将来、起業家の育成を目指した講義が多いと思います。

【角田】 特別な勉強をしているのですか。

【下西】 今、VEC (ベンチャー&アントレプレナー・コミュニティ) の活動に参加しています。VECでは、ベンチャー企業の社長と一緒にビジネスプランを考えたり、プレゼンテーションの練習をしたりしています。これは、学部に関係なく他学部のかたも参加できる活動ですが、将来、起業家になりたいということで勉強しています。



下西 幹  
経営科学部 4年次生  
VEC (ベンチャー&アントレプレナー・コミュニティ) 参加

【小林】 経済学部では、経済の歴史や現在の日本経済の流れを学ぶなど、い

るような授業があります。「今、なぜ日本は不景気なのか」というような疑問が授業で採り上げられるので、身近で取り組みやすい授業が多いです。

**【角田】** 経済の細かい分野が勉強できるということですね。

**【小林】** 経済の動きにも経済学部の子生として興味はありますが、個人的には他学部の授業も受けられることがこの学校のよいところだと思います。経済の勉強もできるし、それに関連した勉強もできます。

**【角田】** 他学部履修ができるシステムを大いに活用されているということですね。

**【吉本】** 法学部は学部の名前のとおり法律について勉強しますが、法律の中でも様々な分野があるので、「何にいちばん興味があるのか」「どんな法律を勉強したいのか」を踏まえた上で科目を選んで受けたほうが自分のためにも勉強になります。ゼミナールで憲法について勉強してきましたが、イラクへの自衛隊派遣などで憲法改正が問題になっていたの、すごく興味が湧き、知りたいという気持ちがあります。大きく、ニュースなどを今まで以上に見るようになりました。



**吉本 卓司**  
法学部 4年次生  
教職課程履修



**【河合】** 外国語学部では高校で学んだ英語とは違って、学んだことを実践で試したくなるような“使える英語”を学んでいます。外国語学部の授業は少人数ですから、先生と近い距離で授業を受けることができます。外国から来られている先生とも仲良くなりながら、自然と英語を話せるようになりました。



**河合 奈保子**  
外国語学部 4年次生  
ホスピタリティコース受講、  
I-Chat Lounge 利用

**【成田】** 国際学部は語学はもちろんのこと、国際関係や国際コミュニケーションなど、幅広い分野の学問を学んでいます。

**【肥田】** 情報学部という、毎日パソコンを触っているようなイメージがあると思います。もちろん機械を使う情報もありますが、自然情報や人間情報など、人間はどうやって考えて言葉を話しているのか、目で見たものをどうやって頭で処理しているのかということも情報です。例えば、地理から得る情報もあります。情報というものは幅が広いものだとことを学べる学部だと思います。

**【角田】** 様々な観点から情報ということの勉強できるということですね。

**【肥田くん】** どういう方面ですか。

**【肥田】** 機械やプログラムは苦手なので、どちらかといえば人間情報や心理学的なところと理学的なところに興味があります。あと、教職課程を履修しているので、どうやって教えれば生徒にいちばん伝わるかという情報の伝え方を追求したいと思います。  
**【武田】** 企業情報学部という名前ですの

で情報処理などを主にするのかと思っていましたが、学んでいくうちに企業活動を網羅するために経済学や経営学そして会計学と幅広く学ぶ学部ということが分かりました。

**【角田】** 武田さんはどういう領域に興味を持っていますか。

**【武田】** 1年次生のときのゼミナールで、企業の状態—この企業はつぶれかけにあるのか、きちんと成り立っているのか—を学ぶ財務諸表の見方を習いました。それがきっかけで、会社がどういう状態なのかを分析することが楽しく、興味があるところです。



**武田 彩**  
企業情報学部 3年次生  
水泳部所属

**【豊田】** 私は短期大学の国際文化学科なので2年間という短い期間ですが、英語はもちろん、フランス語、ドイツ語、中国語といろいろな語学を学ぶことができます。自分たちが興味を持ったことに対して分からなかったところを聞くと、先生がたは喜んで分かりやすく教えていただける学科だと思います。

**【角田】** 先生との触れ合いが多いということですか。

**【豊田】** 多いですね。すごくフレンドリーですし、先生と楽しくランチをご一緒させていただいたこともあります。

**【角田】** 本来、大学というものは先生と学生諸君の触れ合いの中から学んでいくところです。我々も一人ひとりの学生諸君とできるだけ一緒に考えたり、学んだりしたいと思っています。

**役立つ施設、講義**

**【角田】** 本学は施設が充実しているという話もありましたが、施設面や活用できるプログラムでこういうことがよかったなど、印象に残るようなことがありますか。

**【河合】** I-Chat Loungeには外国人の先生や留学生が大勢集まっています。その教室の中では日本語を話してはいけないのですが、どうにかして伝えようという気持ちが学ぶステップになりました。そこで友達を作ることで、本当に伝えたいという気持ちが強くなるので、授業とは違う会話を学べると思います。

**【角田】** I-Chat Loungeの中では英語やフランス語など勉強したい語学を学べるし、なおかつ自分が話したいことを日本語以外で表現しなければいけないですね。河合さんはどういったきっかけでI-Chat Loungeに行かれたのですか。

**【河合】** 授業の中で紹介されて、そんなところがあるのかと知りました。最初は入りにくいのではないかと心配しましたが、皆さんすごく和やかに話していて、これなら自分も参加できると思いました。

**【角田】** ハロウィンやクリスマスイベントなど、いろんな行事もあって楽しいですね。

**【河合】** はい。日本の行事だけでなく外国の文化も知ることができるので、とても貴重な体験だと思います。

**【小林】** 私は、クラブをやっているからということもありますが、週に何回か20号館にあるトレーニングルームを利用しています。ただ機械があるだけのジムではなく、トレーナーもいて、一人ひとりに合ったメニューを組んでくれたり、使い方を教えてもらったりできるのがよいところだと思います。



**小林 洋介**  
経済学部 4年次生  
男子ラクロス部所属

**【角田】** 成果はいかがですか。

**【小林】** 自分が今どれだけの重さを上げられるかを記録していくので、1年次生のときに比べて重いものが持てるよ

うになったと実感することができます。

**【角田】** 一般の学生諸君も、講習会を受ければ利用できますので、ぜひ利用してください。いつでも行けるということと、トレーナーのかたもいてアドバイスをしてくれるということがポイントですね。

**【下西】** ベンチャー企業の社長を招いて、ビジネス活動などを指導いただくVECプログラムを活用しています。最初はプレゼンテーション大会に向けて、グループに分かれた講義を受けていましたが、今は4年次生が中心なので、就職活動についての講義を中心に学んでいます。

僕が3年次生になったときに立ち上がったもので、起業家を目指す人や将来経営者になろうという夢がある人は、どんどん参加してほしいお勧めのプログラムです。

**【角田】** 1年次生から参加しても大丈夫ですか。

**【下西】** 大丈夫です。年の差に関係なく意見を言い合っています。

**【肥田】** 授業のスケジュールを決めるときに、ここが空いたから入れようという講義がどうしても出てきます。そんな講義でも真剣にやっているとおもしろさが分かってきたり、同じことを考える友達ができたり、自分で選んだ講義はすべて役に立つと思います。



**肥田 真幸**  
情報学部 4年次生  
教職課程履修

**【角田】** どんな講義でも積極的に受けていけば、何かしら成果が得られるということですね。

**【肥田】** その中でもゼミナールはいちばん興味深いですね。大教室とは違う先生の顔が見られますし、変な言い方ですが、話してみると普通のオジサンだったり……(笑)。

**【角田】** 学生諸君から見ると大学の先生は話しぶりというイメージがあるようですが、実際はそうではないということですね。

**学業と趣味、クラブ・サークル活動、アルバイト等との両立はできるか。**

**【角田】** この中にもいろいろな課外活動やクラブ活動をされているかたも多いと思います。学業と両立させるために悩んだと思いますが、どのように両立させているかアドバイスをいただけますか。

**【山口】** クラブに入ってからもういくつかアルバイトをしていましたが、かなりきつかったです。慣れてくると、授業と両立してクラブやアルバイトをすることもできました。クラブをしていない人は長時間のアルバイトもできると思いますが、クラブをしていると1日2時間ぐらいが限度だと思います。それでも両立はできていると思います。



**山口 麻衣子**  
流通科学部 4年次生  
バドミントン部所属

**【角田】** 慣れるまでは大変ですが、大学生活が軌道に乗れば両立できるということですね。

**【小林】** 私が入っているラクロス部(男子)は学業優先です。土曜日もクラブはありますが、授業があるときは授業に出ます。クラブに入っているからこそ、一人だとサボってしまうかもしれない授業を、クラブの友達と一緒に講義に足を運べるので両立はできると思います。

**【武田】** 私は水泳部に入っているのですが、夏は毎日練習で、冬は週2回温水プールで練習をしています。夏の間はアルバイトをするのは厳しいですが、冬の間はアルバイトをしてお金をためます。



**【角田】** 上手な時間の使い方をすれば両立できるということですね。

本学のホスピタリティコースを受講されているかたも多いと思いますが、接客業、ホテルなど、サービス業界でもホスピタリティコースは効果的に学べるということですね。

**【河合】** 私は、将来ホテルで働きたいと思っていますが、ホテル業務という少し構えてしまうところがありました。お客様に失礼がないように「お客様は神様です」というようなイメージがありました。人と接するときにはいちばん大切なことは、落ちているごみを拾ったり、困った顔をしていれば「どうしたの」と尋ねるなど、人間として人と接するときの基本に気をつけるということをホスピタリティコースで学びました。

**【角田】** 専門的なことだけでなく、社会人になってからのマナーなども学べるコースということですね。

#### 高校と大学の試験の違いは。

**【角田】** 大学と高校では教育システムも大きく違いますが、本学では前期試験・後期試験で単位を修得していく Semester 制度を取っています。先ほど下西君から、案外レポートが少なかったというお話もありましたが、単位を

修得していく上で大学はこんな試験が多いとか、こんなことに気をつけるたほうがよいという意見はありませんか。

**【山口】** 大学は、自分が受けた授業は責任を持って単位を取らなければいけないし、勉強しなければ単位は取れません。自分で勉強して単位を取るというところが大きな違いだと思います。

**【角田】** 学部によっても違いますが、どんな勉強の仕方をしていますか。

**【下西】** どうしても論述が多くなりますから、文章構成や表現力が必要になってくると思います。教科書に書いていることをしっかり理解して、自分の言葉で表現できる力が必要になってくると思います。

**【成田】** 授業を丸暗記するだけではなく、自分なりに理解することが大事だと思います。



成田 泉香  
国際学部 4 年次生  
学外活動参加

**【角田】** 高校時代は答えが一つということも多いでしょうが、論述などはこれが答えであるということがないので、自分の意見をしっかり述べられることが大学の勉強ということですね。

**【下西】** 高校のテストは勉強した成果の発表だったと思いますが、大学は試験よりも講義が中心で、その確認だと思います。

**【角田】** そのためには、きちんと講義に出席しないと分からないということですね。大学と高校の試験システムの

違いもありますが、講義で勉強したことをきちんと自分の考えで表現できるトレーニングを積んでいったほうがよいということですね。

#### 大学に入学して最初に行うべきこと。

**【角田】** 実際に「自分はこんなことをした」という体験談など、新入生が大学に入学して、最初にやっておいたほうがよいということはありませんか。

**【山口】** 私はすごく消極的ですが、消極的な部分があってもいろんなことを試してみることが大事だと思います。入学式では知らない人ばかりでしたが、その中で最初に声をかけた人とは今でも仲がいいです。積極的でない面があっても、変えていくことが大学 4 年間のうちには必要なことだと思います。

いろんな人とコミュニケーションを取っていけば、知らない世界や違った考え方もあることが分かってすごく勉強になります。

**【肥田】** 最初は寮に入ったのですが、引越しの日に 10 人ぐらいが手伝ってくれ、すぐに仲良くなれました。大阪に出てきている同郷の人を知っていると、例えば「疲れたな。実家に帰りたい。田舎の言葉を聞きたい」と思ったときに、その友達に連絡を取って一緒にご飯を食べに行ったりして、「最近こんなことがあった」と話することでストレスも解消されるし、落ち着けるということもあります。友達を作ることは大事なことだと思います。

**【角田】** 講義も大事ですが、大学での友達とのコミュニケーションが、皆さんがたの大事な部分になっていると思いますね。ほかにありますか。

**【小林】** 学校の設備など興味を持ったことはたくさんありましたが、入学したばかりのころは何事に対しても好奇心があまりなくて、大学に行くことしか考えていませんでした。でも 2 年次生の途中で、大学のシステムを活用し

ている人を見て、「こんなふう生き生きと大学生活を送れるのか」と思いました。新しい情報や設備など今まで自分が知らなかったことに対して、好奇心を持ってチャレンジしてもらいたいと思います。

#### 新入生へのメッセージ！

**【角田】** 最後に新入生へのメッセージを一言ずつお願いします。

**【山口】** 一日一日を大切に、自分自身と周りの人のことを考えられるような人間になってほしいと思います。

**【下西】** 大学は高校と比べて世界が広いので、今まで持っていた固定観念や先入観を取り払って、新しいことに取り組んでいってほしいと思います。新入生の皆さん、ぜひ一度 VEC に参加してください。とてもおもしろいですよ。

**【小林】** 高校時代と違って、大学は自分から何かをしていかなければならない場所ですので、どんどん自分から新しいことにチャレンジしてほしいです。  
**【吉本】** 大学は人も多し、授業もたくさんあって幅が広いので、クラブ活動や授業に積極的に参加してもらいたいです。

**【河合】** 授業をいかにして楽に受けるかではなく、一つひとつの授業をいかに自分のためになるものにするかを考えるということを伝えたいです。

**【成田】** 大学では自分のやり方次第でよい方向に進むし、自分がやらなければ進みません。目標を持って自分がやりたいことをやるのが大事だと思います。

**【肥田】** 大学というカテゴリーにとらわれないで「自分らしく」ということがいちばん大事だと思います。その中で自分を見極めていってほしいです。

**【武田】** 大学に進学してくる人たちの中には、ただ大学を卒業しようという考えの人もいると思います。しかし、何でもいから少しでも興味があるク

ラブやサークルに入って、このクラブでこんな活動をしてきたという足跡を残せるようにしてもらいたいの、充実した大学生活を送るためにクラブ活動やサークルに入ってほしいと思います。

**【豊田】** 学生のうちにできることは何かと考えたときに、「販売の仕事がしたい」「アルバイトをしてみよう」など、どんなことでもやってみようと思ったらどんどんやってみることが大事だと思います。あきらめたらその時点で終わりだと思います。将来、後悔しないように、語学の資格取得など、いろんなことにチャレンジしてみて、「大学生活の中でこれだけ成し遂げた」と思える、自分の財産になるような大学生活をしてほしいと思います。



豊田 弘美  
国際文化学科 2 年次生  
ホスピタリティコース  
受講

**【小倉】** 今日はたくさんのお話を聞かせていただきました。

それぞれの学生生活を歩まれてきた中で、皆さんは様々な経験を積み、大阪学院にきてよかったという思いがしっかりと伝わってきました。

新しく入ってこられる新入生も保護者のかたも、この座談会の記事を読まれたときに、「大阪学院に入学してよかった」と感じていただければ幸いです。



小倉 康三  
企業情報学部 教授  
広報部長代理

**【角田】** どうもありがとうございます。皆さんの貴重な体験談やお話を聞かせていただいて、新入生がこれからの学生生活を有意義に過ごせるアドバイスになったと思います。今後とも皆さんのご活躍を期待していますので、ぜひ頑張ってください。



# 海外研修に行ってきました！

## カナダスキー・スノーボード研修

研修期間：3月1日(火)～10日(木) <10日間>

参加人数：4名

スキーやスノーボードの技術をさらに高めたい学生を対象としたプログラム。北米最大規模のスキー場・ウィスラーでプロのインストラクターから指導を受けました。

## ハワイ大学春期研修

研修期間：2月20日(日)～3月13日(日) <22日間>

参加人数：22名

英語への自信や興味を深めたい学生を対象とした英語研修。毎日4時間の英語レッスンとハワイ文化を知るワークショップなどを体験しました。またホームステイをしながら、実践的に英語を学びました。

## ワイカト大学春期研修

研修期間：2月19日(土)～3月12日(土) <22日間>

参加人数：9名

英語をさらに本格的に学び、実力を試したい学生を対象とした英語研修。毎日5時間の英語レッスンでは、様々な国からの留学生と共に机を並べて勉強しました。ホストファミリーとの交流を通じて異文化の理解を深めることができました。



## カナダスキー・スノーボード研修

カナダスキー・スノーボード研修に参加して、とてもよい経験になりました。インストラクターのかたに教えていただくレッスンも楽しく、とても分かりやすいので、自分が知りたいことをたくさん聞くことができました。今回の研修でいちばん印象に残っているのは、雪山の頂上から滑り下りたことです。辺り一面の銀世界は、私にとってかけがえのない思い出となりました。このように楽しむことができたのは、レッスンを受けて上達したからこそだと思います。海外だけあって言葉の壁は大きく、

初めは何を言っているのか全く分かりませんでした。日がたつにつれて何となく言葉の意味が分かるようになりました。今回はスポーツ研修で語学研修ではなかったのですが、英語を話せるようになりたいと強く思いました。この研修に参加して本当によかったです。



経済学部2年次生  
河合 明論



## ハワイ大学春期研修

今回の研修に参加して、いちばん大変だったことはホームステイ先が学校から遠かったことでした。一人暮らしをしたことがなく、ホームステイをすることも不安に思っていました。それに加えて様々な問題が発生しました。しかし、「自分は語学や文化を勉強しにきているんだ」「毎日の授業を充実した楽しいものにするんだ」と強く思い、頑張ることにしました。最後まで頑張ることができたのは、毎日の生活が新鮮に感じられたからです。海外で生きた英語を学ぶことや、自分の知らない文化に触れることで、視野が広がりました。授業以外で興味

湧いたことの中に、伝統的な踊りがあります。ポリネシアカルチャーセンターでは、ハワイのフラダンスはもちろん、タヒチやトンガなどポリネシアの色々な踊りを見ることができて、自分も踊ってみたいという気持ちになりました。また、サーフィンの聖地「ノース・ショア」や多彩なプログラムを持つ博物館「ビショップミュージアム」に行き、ロコ(地元の人々)の生活に触れたりハワイの歴史を学ぶなど、貴重な体験ができました。自由行動のときは、道や場所を尋ねたりするなど、人々との交流もできました。3週間、本当に色々な経験ができ、学生生活の大きな思い出となりました。



国際文化学科2年次生  
久保田 有希



## ワイカト大学春期研修

今回の研修で最も心に残ったことは、ニュージーランドの人たちの心の温かさです。特にホストファミリーには大変親切にしてもらい、本当に感謝の言葉が尽きません。毎日おいしい食事を用意してくれ、週末にはジェットボードに連れて行ってくれました。そして、学校での愚痴もたびたび聞いてもらいました。夜にコーヒーを飲みながらホストファミリーと話をするのがくつろぎの時間でした。3人の子どもたちも私を慕ってくれ、一緒に遊び回っていたので、退屈することなく毎日過ごせました。また、担任のロビン先生、スー先生も、授業についていけるように様々なサポートを

してくださいました。クラスメートは、中国、モンゴル、コロンビア、韓国、チリ、トルコなど様々な国からきており、世界中の習慣や考えを学ぶことができました。授業の内容はあまり難しくなかったのですが、ペアを組んだりグループで意見を出し合うことが多く、自分の意見をいかに積極的に、流暢に、ユーモアを交えて話すかを求めているような気がして、日々プレッシャーを感じました。それがやっとなり、友達とジョークも交わせるようになったころには、研修が終わろうとしており、「3週間の研修はとても早く短いものだったな」と思いました。ゆとりのある時間を過ごし、きれいなビーチに何度も泳ぎに行き、羊やキーウィなどニュージーランド特有の動物を見るなど、3週間たっぷり楽しみました。この研修に参加して本当によかったと心から思います。



外国語学部4年次生  
三坂 由紀

# 新コース紹介

平成17年4月から、本学ではカリキュラムの改革に伴い、実学的・実践的なカリキュラムへと転換し、学部ごとに将来を見据えたコース制を新しく設定いたしました。

これは、本学の建学の精神や教学の理念に掲げる「実務人の養成」、「学生一人ひとりに目を向けた教育」ならびに「産学共同」を具現化するための取り組みとして実施するものです。

また、所属する学部の授業だけでなく、「もっと幅広く、様々な勉強をしてみたい」「インターンシップに参加したい」といった学生の希望に添えるように、他学部履修の範囲を広げ、学生個々の目標に添った学習ができるよう改めました。

今回、カリキュラム改革を実施した学部・学科のコース概要を紹介します。なお、紹介するコースは平成17年4月に入学された学生を対象とします。

## 流通科学部

### マーケティングコース

商品企画やプロモーション（宣伝）など、企業経営の核となるマーケティングについて学び、理論だけでなく実践力や応用力を身につけます。

### サービス産業コース

ホテル・旅行・観光・フードサービスなどサービス産業で活躍できる実践的な知識とマネジメント能力を育成します。

### 流通ビジネスコース

小売業・卸売業・物流業など流通産業の実態を把握し、新しい時代の産業と経営革新について学びます。

## 経営科学部

### 経営管理者育成コース

経営学の基礎や経営のモノの見方と考え方を学び、経営管理者に必要な実践的な問題解決能力を磨きます。

### 後継者育成コース

中小企業が抱える問題や現実的に直面する資金繰り・資金調達などについて考察し、企業経営の後継者として必要な実践力やマネジメント能力を習得します。

### 起業家育成コース

ベンチャービジネスにおける経営のスキルやビジネスプランの作成などについて学び、起業家としてのマネジメント能力を養います。

## 経済学部

### 比較経済コース

歴史や地域による経済の違いを比較しながら、経済学の基礎から応用までを学び、将来、商社や貿易会社で活躍できる能力を育成します。

### 情報経済コース

情報が多大な価値を持つ現代社会において、企業間の競争や知的財産の保護などを学び、現代の情報化社会で活躍できる人材の育成を目指します。

### 環境アメリティコース

経済という視点から環境や福祉分野を考察し、国家や地方行政・財政などの問題点を分析しながら解決策を探究します。

### 金融経済コース

経済のグローバル化が進む現代社会の中で、新しい金融の仕組みを理解し経済を数量的に分析する力を養います。

### ジェネラルコース

自分の興味や関心に沿って複数のコースを横断的に選択し、経済の領域を総合的に学び、幅広い知識と実務能力を身につけます。

## 外国語学部

### 実務型コース

外資系企業への就職や語学力を必要とする国内外の企業への就職や実務翻訳家、通訳ガイドなどを目標に実務能力を養い、即戦力としての語学スキルを身につけます。

### 総合型コース

語学を学問として探究し、海外の大学や大学院への留学、語学教員などに必要とされる専門知識と語学能力を養成します。

## 国際学部

### 国際協力・異文化理解コース

国際社会の仕組みや、その背景となる文化を様々な角度から理解し、NGO(非政府組織)やNPO(非営利組織)といった国際組織で活躍できる人材を育成します。

### 国際ビジネス・キャリアデザインコース

国際ビジネスに関する多彩なニーズや変化に素早く対応し、明確な意識を持って将来設計をするすべを身につけ、国際的なビジネスシーンで活躍できる人材を育成します。

### ヒューマンコミュニケーション・心理学コース

人間の内面にかかわる心理学を異文化社会とのコミュニケーションツールの一つとして捉え、国際人として必要なヒューマンファクター(人間的要素)を学びます。

## 情報学部

### コンピュータサイエンス(CS)コース

コンピュータの仕組みやプログラミング、ネットワーク、マルチメディアなど、ハードウェア、ソフトウェアにまたがって高度な情報技術を身につけます。

### ヒューマンサイエンス(HS)コース

物事の認知や言語の理解など、人間がどのように情報処理を行っているのかを分析し、コンピュータを駆使して情報を処理する方法を身につけます。

## 企業情報学部

### 会計・ビジネス情報コース

企業の情報戦略、財務戦略に精通し、ビジネスチャンスに対応できる情報管理能力とビジネスコンピュータスキルを備えた人材を育成します。

### 医療福祉経営コース

医療福祉経営における基礎理論と情報・管理技術を習得し、知的情報力と効率的な管理能力を備えた専門家や企業経営者を育成します。

### ITコース

ITビジネス界や広告・出版業界で活躍できる実践的適応力と企業内情報システムの合理的運営能力を持つ情報専門化・システム管理者を養成します。

## 経営実務科

### 会計コース

簿記や会計の知識とスキルを習得し、ビジネス現場に必要な経理や企業の財務分析ができる「会計のスペシャリスト」を育成します。

### ビジネスコース

企業の経営戦略やマーケティングを学び、ビジネス業務を効率的に推進するために必要な知識と実務能力を身につけます。

### 情報コース

データ分析やデータ処理、ワープロ、表計算などの知識や実践能力を養い、コンピュータスキルやプレゼンテーション能力を習得します。

## 国際文化学科

### 現代を知るコース

世界各地域の特色や現状認識を学ぶとともに、現代の様々な課題に取り組み、現代的な国際感覚と社会感覚を身につけます。

### 異文化理解コース

世界の多種多様な文化の歴史や現状を広く学び、文化的に異なる国内外の地域や人々の生活を理解し、国際的・文化的な教養を身につけます。

### 言語文化コース

言語の構造を理解し、言葉が持つ魅力を感じながら国内外の文学作品に触れ、言語の運用能力を向上させる語学的教養を身につけます。

なお、法学部のコースについては、平成18年4月に向けて準備中です。

## 「想像力と創造力」

春は卒業と入学の季節。3月なら、学内でばったり会った元ゼミ生に「先生のおかげで卒業できました。先生の授業楽しかったです。ありがとうございます」なんて言われると、「卒業おめでとう」と、そっけなく切り返しながらか、実はじんときています。4月なら、新しいゼミや講義の初日は、学問に対して真摯な気持ちを持っていて、きちんと交流できる学生がきてくれているか、不安で胃がきりきりしています。大学の先生を職業にしている以上、質のいいサービス(講義内容)を提供することは義務。とはいっても、対人間の仕事ですから、熱心に参加してもらえれば、ますます教える意欲も湧くし、無関心な態度をあらわにされると「社会に出て役立つことも、取り入れているのだけどな……」と小さな声でつぶやいてしまう。そんな複雑な季節でもあるのです。

大阪学院大学に勤務して3年。様々な感性を持つ学生と接することができて、逆に学ぶこともたくさんありました。何も考えずに生きてると、家庭や学習環境といった、自らの価値観を形成する条件が非常に似ている人とばかり接していることに気づかずにいます。仕事として、様々な価値観を持つ人、自分が苦手と感じる人と、無理にでもかかわっていかねばならない状況に直面し、「自分とは全く違う考え方、優先順位を持つ人がある」という事実を、初めて実感できるようになったと思います。どんなにたくさんの情報が流れていても、それを積極的に獲得していかない限り、何の役にも立たないのと同じで、自分以外の価値観の存在を知っていることと、理解しようと努力することの間には、大きな違いがあるのではないのでしょうか。



大学院生仲間と（イザベルは交換留学生として来日）

## 一人ひとりが唯一無二のかえがえのない存在に

最近よく取り上げられる話題に、NEET (Not in Employment, Education or Training)、つまり、若者が働こうとしないという問題があります。働く意欲がなく、かといって学ぶ意欲もなく、将来に向けての展望もない。こうした人間が増加することは、将来の日本経済の成長に、大きなマイナス要因となるだろうと考えられています。なぜなら、経済の成長には、人々が働いてお金を稼ぎ、消費するというプロセスが必要であり、労働人口の減少は経済を停滞させることにつながるからです。しかし、単純に人の数で考えられないところが経済の複雑なところで、単純作業であれば、人の数が半分に減っても、一人当たり2倍の作業を行うと、

生み出す総生産量は全く同じことになります。だからこそ、企業の立場からいえば、同じ給料を支払うなら、一人で多くの仕事を効率的にしてくれる人を雇いたいと思うわけで、効率の悪い人は雇ってもらえないということになります。若者は、効率よく働く術をまだ習得しておらず、養わなければならない家族がいるわけでもないのに、まだまだゆっくりしたいと厳しい就職戦線から逃避する傾向にある、と一般的にはとらえられているのだと思います。

しかし、大学で学生と接していると、現実とは違うのではないかと、上述したような消極的理由ではなくNEETになっている人もいないのではないかとすることがあります。学生は、概して、無気力であるふりをしてしています。一対一で話してみれば、大きな夢があったり、目標がないことを真剣に悩んでいたりと、このままではいけないと焦っていることが分かります。一人ひとりが唯一無二のかえがえのない存在として生きていきたいと望んでいるからだだと思います。この抽象的な概念を労働の観点に絞れば、自分が普遍的な競争力を持ち、企業から引く手あまたの存在になりたい、「あなたじゃなきゃ、この仕事はできませんから」と会社に言われる存在になりたいと望んでいることになります。ただし、どうすれば普遍的な競争力を持てるのか、そもそも競争力とは何か、それが分からない。しかもそれを分かる方法をだれも示してくれない。だからこそ、無気力なふりをして心の中で悩んでいるのではないのでしょうか。



杉本 喜美子 国際学部 助教授

担当科目：ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、国際金融論、国際経済論、地域演習、国際学概論

趣味：オーケストラ（バイオリン）

著書：「国際関係を生きる—教育する国際学—」（共著）

好きなことをやっていたら仕事になった。そうあれたら、どんなに幸せなことでしょう。しかし、それ以外の人に対して、社会で生き抜く方法を教えてくれる人はだれもいない。画家、作家、ノーベル賞を取るような研究のできる学者などを除いた残り99%の仕事は、自分の代わりは必ずいくらでもいる仕事といえるでしょう。だれでもできるのなら、同じ仕事をする人の中で、何か少しでも、自分のほうが貢献できる力を持つ必要が出てきます。これが、競争力ということで、語学力や資格取得に努力する人が多いのも、このためだと思われる。しかし、最近、私は、普遍的な競争力を持つために、何かもっと大事なことがあるのではないかと思うようになりました。

## 「自分だけができる何か」

私の大切な友人に、日本で働いて5年以上たつフランス人女性（イザベル）がいます。彼女は好奇心旺盛で行動的ですが、豪快で鈍感に見せかけておいて、実は驚くほど繊細な心の持ち主でもあります。どの国で暮らしていても、優しい人もいれば心無い言葉で人を傷つける人もいますから、異国の地になじみ、働くことは大変なことだと思います。しかし、20代半ばの才能あふれる彼女は、「日本人が好き」「日本のビジネススタイルが好き」と言って、毎日楽しく暮らしています。彼女の言葉を借りれば、フランス人は、個人主義が徹底しているため、仕事の領域も完全に個で独立しており、同僚への質問や、今後の方向性に関する部下への相談は、能力の欠如と見なされるそうです。一方、日本人は、協調性が美徳とされているため、人に任せるところは（たとえ部下に対してであっても）しっかりと任せ、自分にしかできないことに集中することで、全体としての生産性を上げることが、最も評価されると見えています。つまり、自分にしかできないことをきちんと分かってさえいれば、質問や相談も能力の欠如ではないということになります。「まだまだ分からないことだらけ。だからこそ、吸収できることは全部吸収したいわ。質問も相談も恥ずかしいことじゃないって、日本にきて初めて分かったから……。」と彼女は言います。しかし一方で、「どうしてそんなに自信を持たないの？ そんな狭い世界で満足しちゃだめよ。私は、あなたの能力がそこまでだとは思ってない。もっと頑張らないと納得できないじゃない。」と過大評価し、叱咤激励もしてくれます。たった数年で、彼女は、日本人が国際競争力を持つ上での長所と短所をはっきりと見抜いているようです。



イザベルのお母様を京都観光へ

そんな聡明な彼女も、日本にきた当初は、炊き込みご飯のおにぎりを渡したら、「こんなの食べて生きていけるのかな」とぼろぼろ涙を流していました。先日会ったときには、「おにぎりはやっぱり昆布よね」と、本当においしそうに食べていて、その変貌ぶりに驚いたものです。そのとき、

**「好き嫌いはだれにでもあるわ。でも食わず嫌いはだめ。文化も人も一緒。接する前から受け付けられないでいると、自分の価値観を狭いところに閉じ込めておくことになる。それは、安全だけのおもしろくない。納得いくまで試すことのできる、度量の広い人って素敵よね。」**

と笑っている彼女を見て、すごく大事なことを言われた気がしました。逆説的かもしれませんが、自分とは異なる価値観を持つ人を認めていくことを通じて、自分だけができることは何かが見えてくるのかもしれない。思いやりを持って他人の立場を想像することと、自分しかできないことを創造することが、生き抜く力なのではないのでしょうか。これが、学生との交流を通して得られた、現時点での結論です。

次回11月号のESSAYは、山口 悟 国際学部 助教授にお願いします。お楽しみに！



会員制マルチメディア施設

# MELOP (MEdia Laboratory Of Phoenix)

MELOP(メロップ)では、「Technology As A Tool —生きるITスキルを身につけよう—」をコンセプトに、コンピュータやマルチメディアに関する様々な企画を実施しています。

「テクノロジーを使えるか」ではなく「テクノロジーを使って何をするのか」という考え方にに基づき、会員は実践的なスキルアップの実現を目指しています。専属スタッフによる「個別カウンセリング」も行っており、それぞれが目標を達成できる万全のサポート体制を整えています。



**オープンセミナー**  
会員以外の学生もMELOPが体感できるよう、学生なら誰でも受講できる講習会「MELOPオープンセミナー」を4・5月に実施しています。  
場所：12号館地下1階 MELOP

**エクステンションセンターで入会手続**

**個別カウンセリング**  
MELOPでは、会員一人ひとりが学習方法などを相談できる個別カウンセリングを行っています。  
会員それぞれが目標を達成できるように、万全のサポート体制を整えています。

講習会

グループ活動

自由利用

Skill Up!

Creative!

Creative!

**How To 講習会**

講習会例) Windows基礎、Word基礎、Excel応用  
コンピュータ初心者対象の基本操作からWordやExcel、画像・映像系ソフトまで、幅広い種類のアプリケーション操作の方法について学ぶことができます。



**実践講習会**

講習会例) プレゼンテーションテクニック、JAVA入門、Dreamweaver入門  
これからの時代は「コンピュータができるか」ではなく、「コンピュータで何ができるのか」が求められます。実践講習会では、ITを利用して何ができるか? という1ランク上のスキル取得を実現します。

**資格対策講習会**

講習会例) パソコン検定対策、Microsoft Office Specialist Word2003対策  
資格対策講習会では、パソコン検定やMicrosoft Office Specialist、初級システムアドミニストレータなど、将来に役立つ資格について、資格取得までしっかりサポートします。

**DAV (Digital Audio-Video)**

脚本の制作から撮影・編集まで、グループで役割分担しながら、デジタルムービーを制作・発表します。



**MELOP Planning Group**

MELOP会員が企画するグループ活動です。担当スタッフと一緒にMELOPの企画を立案・実施します。

**映像編集・コンピュータミュージック**

音楽CDやアニメーションを作成するソフトが利用できます。また、コンピュータミュージックを作成する機器やビデオ編集機も使用できます。



**その他の自由利用**

レポート作成のほか、イラストやロゴ、ホームページの作成など自由に利用できます。



**終身会員制度**  
卒業した後も施設を利用できる「終身会員制度」があります。(無料)  
終身会員になれば、講習会を受講したり、専門の機器が自由に利用できます。

卒業



# CAMPUS LIFE

## 二人の歩んできた道

国際文化学科  
2年次生  
谷 咲貴子



国際文化学科  
2年次生  
松永 夕香里

**SPOT 私** たちは、大阪学院短期大学 国際文化学科で英語や世界の文化など様々なことを学んでいます。二人の共通の趣味は歌うことですが、好きな講義、服の趣味、考え方にも共通点が多く、自分たちでも驚くほどです。特に、二人とも音楽が大好きで、音楽の話題になると話が尽きません。

中学校からの友達である私たちは、歌を聴くだけでなく歌うことが大好きで、クラブ活動（バンド）の練習をそっこのけにして、よくハモリの練習をしていました。二人で初めて練習した曲は、Dreams Come Trueの『サンキュ』で、この曲を毎日のように歌い、いつの間にか二人のレパトリーになりました。

中学三年生の夏休み、地元の市民ホールでNHK・BSで放送されている「Jr.のど自慢大会」が開催されるということで早速応募したところ、書類審査を通過し二次審査を受けることになりました。曲はもちろん『サンキュ』です。二次審査も見事通過し、次の日本番が行われました。本番では周囲の雰囲気にも圧倒されたのと実力不足だったせいか、あっけなく落選しました。しかし、このことは負けず嫌いの私たちの心に強く残りました。

中学を卒業してからは、お互い別々の高校へと進みながらも、それぞれが歌やダンスを習いながら音楽活動を続けていました。そして、二人とも大阪学院短期大学に通うことになり、再び私たちは音楽活動ができるようになりました。私たちをもう一度巡り合わせてくれたOsaka Gakuin Universityの頭文字を取り、『Ogu』というユニット名で、今までよりも本格的に活動を始めました。自分たちで作詞・作曲を手掛け、毎週土曜日に京橋のまぐろ亭というレストランでコンサートを行っています。そのほかには、養護施設を訪れて歌ったり、大学の昼休みに私たちの曲を流してもらったりしています。ちなみにオリジナル曲は4曲持っていて、CDも自主制作しました。そのCDは10日間で100枚も売れ、現在も売れ続けています。



より多くの人に私たちの曲を聞いてもらうために、向上心を忘れず今よりもさらに活動を広げ頑張っていきたいと思っています。そのために、今後は海外で知らない文化を見たり触れたりして様々なことを吸収し、英語力や表現の仕方なども学びたいと考えています。心に響き、いつまでも残るような曲を歌い続けていくのが私たちの夢です。ぜひ、私たちの曲を聴いてください！そして、応援よろしくをお願いします。



# CLUB ACTIVITIES

## CLUB ACTIVITIES

### バドミントン部

バドミントンというと、みなさんのイメージでは公園などで遊んだりする遊びの一つだと思っているかたも多いのではないのでしょうか。実際はダッシュ・ジャンプ・ストップを短時間で繰り返し、筋肉への負担がかなりかかる激しいスポーツなのです。

私たちバドミントン部は、男子・女子が合同で活動する、元気で明るく仲のいいチームです。練習メニューはキャプテンを中心に部員全員で考え、休みの日にはOB・OGのかたがたが練習を指導しにきてくださったりしています。

昨年の春季リーグ戦における男子2部残留、女子2部に降格という不本意な成績に納得がいかず、毎日のように練習を重ね筋力トレーニングに励みました。そして迎えた秋季リーグ戦。4年次生にとっては最後のリーグ戦であり、男子も女子も1部昇格という目標を胸に試合に挑みました。男子・女子ともに2部での優勝を果たし、1部との入替戦の日、男子が先に勝利し1部昇格が決定しました。その後、部員全員で女子を応援し、最後の1点を入れた瞬間、皆が感動し泣きました。男子・女子ともに、見事に1部昇格することができたのです。

これからも、感動あり、笑いあり、中でも厳しさを忘れずに、1部での優勝を目指して練習に励んでいきたいと思っています。

バドミントンに少しでも興味があり、やる気があるかたは、いつでも部室や体育館に見学にきてください。

最後になりますが、これからもチーム一丸となって1部リーグでさらに上位を目指し、個人でもよい記録を残せるよう頑張っていきますので、ご声援よろしくをお願いします。



経済学部2年次生 中嶋 綾乃

**活動時間**  
月～水 14:30～16:30  
木・土 17:30～20:00  
金日 OFF  
不定

**活動場所**  
体育館



昨年の成績 関西学生秋季リーグ戦 2部優勝 1部昇格(男子・女子)  
全日本学生バドミントン選手権出場  
西日本学生バドミントン選手権ベスト8(男子・女子)  
大阪学生バドミントン選手権 優勝(女子)・1部4位(男子)

# 学生相談センターだより

## 自分とのコミュニケーション

カウンセラー 山本 美保

私はこのコラムで毎回みなさんに、“フォーカシング”について紹介しています。“フォーカシング”は自分とのコミュニケーションを持つための、比較的だれにでも利用できる易しい方法です。日々の忙しい生活の中で、あるいは次々と押し寄せるたくさんの情報の中で、一体何をよりどころにしたらよいのか、何を優先すればよいのか、はっきりしないままにとりあえず今を過ごしているかたも多いのではないのでしょうか。心の中に気掛かりなことがいっぱいあって身動きも取れないとか、心が重たくて何もする気が起らないとか……。いずれも私たち自身の中の自分とのコミュニケーション不足が問題になっているように思えます。

「私はどんなふうを感じているのだろうか？」からだの感じでは？イメージでは？気持ちでは？

フォーカシングでは、自分が何かを感じているとき、それにぴったりの言葉や動作、音などの表現を見付け、自分のことを理解し、次に踏み出す一歩を見付けていきます。

ポイントは、その表現がぴったりかどうか常にかからだの感じを通して確かめることと（からだはとても正直ですから）、「これはいったい何だろう？」と優しい気持ちで関心・好奇心を向けることです。

手順は次のようです。

1. 今の感じを確かめる。「今、私はどんな感じがしているんだろう？」  
(例：落ち着かない、むしゃくしゃしている、気が重い)
2. からだの感じはどうだろう。特にのど、胸、おなかの辺り  
(例：詰まる、モヤモヤしている、抑えつけられる、どっしりした)
3. からだの感じとぴったりの言葉や文、イメージや音、身ぶりが浮かぶのを待つ。
4. からだの感じとそれらの表現が合っているかどうか確かめる。  
(この段階でいろんな発見が生まれてくるかもしれません。気持ちが落ち着いてくるかもしれません。)
5. 今の感じに問いかける。  
・ いったい何がそんなに…なんだろう。  
(例：怖いのだろうか？ イライラしているのだろうか？)  
・ 最悪（最高）なのは何だろう。  
・ それにはどういふことが必要なのだろう。  
(何があったらいいのだろうか。)  
・ 全部うまくいったときをイメージする。  
(その邪魔をしているのは何だろう。)  
・ 今のこの感じにはどういふ問いかけがいいだろう。  
(この感じはどういふ問いかけを望んでいるのだろうか。)
6. 浮かんできた答えを受け取り、その答えでよいかどうかからだの感じを通して確かめてみる。

一人で進むと注意がそれやすいので、ノートを用意して、浮かんでくることを書き留めながら進めるとやりやすいかもしれません。カウンセラーの援助のもとに体験してみたいかたは、学生相談センターを訪ねてください。

参考図書：『やさしいフォーカシングー自分でできるこころの処方ー』

アン・ワイザー・コーネル著、大澤美枝子/日笠摩子訳、コスモス・ライブラリー

### 相談したいときは

- ◆ 直接、学生相談センター「3号館6階」まできてください。
- ◆ 保護者や友人と一緒にでも、また保護者のみでも相談できます。
- ◆ 電話での相談や予約も、受け付けています。
- ◆ 相談内容の秘密は厳守されます。

### <相談時間>

学業・進路・就職・生活全般  
月～土曜日 9:00～17:00  
心理相談  
月～土曜日 10:00～16:00  
※日・祝祭日および事務休業日はお休みです。1回の相談時間は、原則として1時間以内ですが、継続して利用できます。どんなことでも結構ですので、気軽に学生相談センターを訪ねてください。

学生相談センター受付電話  
(06) 6382-0266

## CAMPUS NEWS DIGEST

### 人事

新任〔平成17年4月1日付〕



経済学部  
森田 健司 講師  
担当科目  
社会思想史、ゼミナールⅠA・B  
ワークショップA・B、  
ゼミナールⅡ



法学部  
和田 進士 講師  
担当科目  
裁判法、刑事訴訟法、  
ゼミナールⅠ・Ⅱ



国際学部  
大塚 和義 教授  
担当科目  
地球と民族Ⅰ・Ⅱ、比較民族学  
文化人類学、比較民族研究、  
比較民族特殊研究、研究指導B



情報学部  
首藤 勝 教授  
担当科目  
ソフトウェア工学、オペレーティング  
システム、ゼミナールⅠA、ゼミナールⅡ、  
ソフトウェア開発論、情報技術特論Ⅱ



情報学部  
橋 啓八郎 教授  
担当科目  
信号処理、デジタル通信、  
ゼミナールⅠA、ゼミナールⅡ、  
情報インターフェイス



情報学部  
寺井 正幸 教授  
担当科目  
論理設計、数理計画法、計算論、  
ゼミナールⅠA、ゼミナールⅡ、  
システムCAD



法務研究科  
國井 和郎 教授  
担当科目  
民法総則、不正行為法、民事責任  
法論、法主体論、契約法各論、  
家族法、専門演習V

### 訃報

安場 保吉 経済学部 教授が平成17年4月13日(水)午後3時45分 享年74才にて逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

### 入学式



〔4月4日(月) 体育館〕  
平成17年度 入学式が執り行われ、大学1,396名、大学院106名、短期大学83名、計1,585名の新入生が入学しました。  
白井総長が冒頭で新入生に励ましの言葉をかけられ、また、本学の建学の精神と教育理念を語られました。新入生一同、希望に胸を膨らませ、新たな大学生活のスタートを切ることにしました。

### 新入生歓迎会



〔4月8日(金) 17号館噴水前特設ステージ〕  
大学生活の扉を開け、多くの友達との出会いの場として、「新入生歓迎会」を開催しました。新入生実行委員会が中心となってイベントが企画され、クラブ紹介や大道芸人「たつきゆうさん」によるライブ、さらに吉本芸人(麒麟・天津)によるタレントライブが繰り広げられるなか、大学生活の第一歩を新入生たちは踏み出しました。

### 会社説明会



〔2月18日(金)～3月3日(木) 2号館1階ラウンジ〕  
 大学3年次生・短大1年次生を対象に、学内会社説明会を実施しました。企業257社と、延べ2,300人を超える学生の参加があり、開催以来の来場者数となりました。企業からのプレゼンテーションの後、各ブースに分かれて、企業の個別説明が行われました。各ブースでは学生からの質問が飛び交い、熱心に就職活動をする学生の姿が印象的でした。意欲あふれる学生たちの今後の就職活動に期待しています。

### 遠隔技術を利用したハワイとの遠隔交流



〔3月2日(水) 2号館1階オープンラボ〕  
 アメリカ・ハワイ州で開催されたE-School Conferenceの会場と本学とを遠隔技術を利用して接続し、現地の教員・学生と交流しました。お互いの自己紹介や日本の文化・習慣の紹介を通じて、学生たちはコミュニケーションの楽しさを学びました。

### 外国の文化を学ぶイースターウィーク



〔4月11日(月)～15日(金) I-Chat Lounge〕  
 「イースター」とは、イエス・キリストの復活を祝うキリスト教最古の儀式のことです。イースターの文化に触れ、実際に「イースターエッグ」を作成するなど楽しみながら異文化を学びました。

### 山本寛斎氏講演「人間讃歌」(教養講座)



〔4月25日(月) 15号館2階03教室〕  
 スーパーショーを通して夢・未来に向かって挑戦し続ける「情熱人」山本寛斎氏をお迎えして教養講座を開催しました。「人間讃歌」をテーマとして学生生活を有意義なものにするためには「夢を持とう。積極的に行動しよう」というアドバイスをいただき、約600名の参加者は夢・未来への挑戦を心に強く誓っている様子でした。

# INFORMATION

## May~

### 公務員説明会



〔3月1日(火)～3日(木) 13号館2階〕  
 公務員説明会では、警察・消防をはじめ国税庁や大阪地方裁判所、日本郵政公社など計8団体の参加がありました。1・2年次の学生も参加するなど、公務員試験受験への意識の高さがうかがえました。業務内容、採用試験対策のポイントについての説明があり、今後の試験対策に向けて有意義な説明会となったことと思います。

### 入学予定者のためのプレオリエンテーション



〔3月15日(火)・16日(水)〕  
 「どんなクラブやサークルがあるのかな?」「入学したら何から始めたらいいんだろう?」このような不安を解消するため、入学予定者を対象とした「プレオリエンテーション」を開催しました。最初は、緊張した雰囲気でしたが、紹介ゲームなどをするにつれ、徐々に和やかになりました。先生からのアドバイスや先輩の体験談などを聞いて、4月から始まる学生生活に期待を膨らませていた様子でした。

### 庶務課

#### 保護者就職説明会

保護者就職説明会は、就職および就職活動を控えた学生を支援するため、保護者の皆さまにも現在の就職状況などについてご理解いただくことを目的に実施しております。この機会に在学生も参加していただき、今後の進路の参考にしてください。

7月3日(日) 10:00~

対象：保護者(在学生 大学3・4年次生、短期大学1・2年次生)

※詳細は、6月上旬に送付いたしますハガキをご覧ください。

#### 教育懇談会

教育懇談会は、保護者の皆様に大学生活全般や就職活動等の説明を通して本学への教育活動についてより一層ご理解をいただくことを目的に実施しております。本年度は下記の日程で開催いたします。なお、詳細は別途送付いたします案内状をご覧ください。多数のご参加をお待ちしております。

#### 平成17年度 教育懇談会 日程・会場一覧

<会場>

8月	23日(火)	徳島会場
	24日(水)	香川・石川会場
	26日(金)	福井会場
	27日(土)・28日(日)	本学会場
	30日(火)	鳥取会場

9月	6日(火)	東京会場
	7日(水)	福岡・静岡会場
	8日(木)	山口・和歌山会場
	10日(土)・11日(日)	本学会場
	12日(月)	愛知会場
	13日(火)	広島会場
	14日(水)	岡山・高知会場

※日程および会場は、変更となる場合があります。

## 国際センター

### 平成17年度 海外研修、海外インターンプログラム

研修名	内容	期間
オーストラリア・インターンプログラム	スクールインターン、企業インターン	8月1日(月)～8月22日(月) <22日間>
カナダ・インターンプログラム	英語研修、企業インターン	8月1日(月)～9月19日(月) <50日間>
ニュージーランド・インターンプログラム	英語研修、企業インターン	8月6日(土)～9月19日(月) <45日間>
ユタ・インターンプログラム	企業インターン	8月29日(月)～9月19日(月) <22日間>
シンガポール・インターンプログラム	企業インターン	9月5日(月)～9月19日(月) <15日間>
トリア大学夏期研修	ドイツ語研修	8月14日(日)～9月5日(月) <23日間>
セント・トーマス大学夏期研修	TOEIC®テスト対策プログラム	8月21日(日)～9月18日(日) <29日間>
ケンブリッジ大学夏期研修	英語研修	8月27日(土)～9月18日(日) <23日間>
オルレアン大学夏期研修	フランス語研修	9月2日(金)～9月20日(火) <19日間>
モンブラントレッキング研修	トレッキング研修	9月7日(水)～9月16日(金) <10日間>

※参加申込方法など、詳細については国際センターにお問い合わせください。

### IP (TOEIC®テスト学内受験)

TOEIC®テストとは、英語によるコミュニケーション能力を評価するための世界水準のテストです。IP (TOEIC®テスト学内受験) は、一般公開テスト (6,615円) に比べ低料金で受験でき、スコア通知も早いのが特徴で、就職活動の際には履歴書にも記載できます。平成17年度の実施は以下のとおりです。

試験日	申込期間	時間	受験料
5月15日(日)	4月1日(金)～4月22日(金)	13:00～15:30	4,300円
7月10日(日)	5月23日(月)～6月22日(水)		
10月16日(日)	7月11日(月)～9月27日(火)		
12月4日(日)	10月3日(月)～11月15日(火)		
2月5日(日)	12月12日(月)～1月18日(水)		

※申込受付はエクステンションセンターで行います。

### ITP (TOEFL®テスト模擬試験)

TOEFL®テストは国際標準の英語能力試験です。特に英語圏の大学・大学院への留学を目指す人には英語力の証明として必須の試験です。ITP (TOEFL®テスト模擬試験) は、正規のテスト (\$130) に比べ、低料金で受験できます。本番までのスコアアップのための練習としてご利用ください。平成17年度の実施は以下のとおりです。

試験日	申込期間	時間	受験料
5月21日(土)	4月1日(金)～4月26日(火)	16:10～18:40	2,960円
7月9日(土)	5月23日(月)～6月15日(水)		
10月15日(土)	7月11日(月)～9月20日(火)		

※申込受付はエクステンションセンターで行います。

## 入試事務室

### オープンキャンパス開催

開催日	開催時間
7月17日(日)	10:00～15:00 ※事前予約不要
7月31日(日)	
8月23日(火)	
9月18日(日)	
10月9日(日)	

#### 開催内容

入試説明会、教員による学部・学科説明、入試個別相談、各種個別相談、英語力アップのためのCALL教室体験、キャンパス見学ツアー、学食体験等、学生生活を体験できるプログラムを実施します。

## エクステンションセンター

### 2005年度 春夏講座

多数のお申し込みをいただき、ありがとうございました。

講座によっては、定員に空きがあるものもありますので、エクステンションセンターまでお問い合わせください。

エクステンションセンター (2号館2階) [9時～17時受付 (日曜日・祝日等を除く)]

TEL: 06-6381-8434 (代表) URL: [http://www.osaka-gu.ac.jp/life\\_edu/index.html](http://www.osaka-gu.ac.jp/life_edu/index.html)

## TIMETABLE

6月2日(木) 創立記念日	9月6日(火) 前期追・再試験 (大学・短期大学) [至8日(木)]
7月14日(木) 前期授業終了 (大学・短期大学)	10日(土) 前期追試験 (法科大学院) [至11日(日)]
15日(金) 前期補講 (大学・短期大学) [至20日(水)]	21日(水) 後期オリエンテーション (大学) [至30日(金)]
16日(土) 前期授業終了 (大学院)	22日(木) 後期オリエンテーション (短期大学) [至30日(金)]
19日(火) 前期補講 (大学院) [至20日(水)]	24日(土) 卒業式 (大学・短期大学・大学院) 後期オリエンテーション (法科大学院) [至30日(金)]
21日(木) 前期試験開始 (大学) [至30日(土)]	30日(金) 夏期休暇終了 (共通)
前期試験開始 (短期大学) [至28日(木)]	10月1日(土) 後期授業開始 (共通)
夏期休暇開始 (大学院) [至9月30日(金)]	17日(月) 後期分学費納付期限 (共通)
24日(日) 前期授業終了 (法科大学院)	21日(金) 岸辺祭 (全学休講) [至25日(火)]
26日(火) 前期補講 (法科大学院) [至31日(日)]	
29日(金) 夏期休暇開始 (短期大学) [至9月30日(金)]	
8月1日(月) 夏期休暇開始 (大学・法科大学院) [至9月30日(金)]	
27日(土) 前期試験開始 (法科大学院) [至9月3日(土)]	
30日(火) 前期未卒業合否発表 (大学・短期大学) 前期追・再試験申込受付 (大学・短期大学) [至31日(水)]	